

ニュースリリース

Sapporo Concert Hall Kitara
札幌コンサートホール

2019年11月開催 オルガン・アウトリーチについて

学校 DE カルチャーアウトリーチコンサート

Kitara が所有するオルガンを小学校へ運び、おでかけコンサートを行います

札幌コンサートホールでは、ホールが所有する移動可能な小型パイプオルガン「ポジティブ・オルガン」を札幌市内の小学校へ運び、アウトリーチコンサートを行っています。平成24年度の開始から、これまでに1500人以上の児童にオルガンの音色を届けてきました。

今回は、第21代札幌コンサートホール専属オルガニストのアダム・タバイディによるオルガン演奏と、札幌出身のオルガニスト 吉村 怜子によるお話で、オルガンの魅力を紹介するプログラムです。

日時／2019年11月20日(水) 13:25～14:10(5限目)
場所／札幌市立共栄小学校 多目的室(札幌市厚別区厚別南2丁目21-22)
対象／小学校5年生(約75人)、教職員の皆様

- 出演 オルガン／アダム・タバイディ(第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)
お話・通訳／吉村 怜子
- 内容 45分間のプログラム
 - ①オルガン演奏
 - ②オルガンについてのお話
 - ③オルガンと歌の合奏 など



▲ポジティブ・オルガン



アダム・タバイディ

1993年、ハンガリー生まれ。リスト音楽院やパリ国立高等音楽院などでオルガン、即興、チェンバロ、通奏低音を学ぶ。これまでにトン・コープマンら著名なオルガニストたちによるマスタークラスを受講。フランス財団及びタラディ財団から奨学金を授与され、またアニー・フィッシャー音楽奨学生となる。2017～18年にはパリ・ノートルダム大聖堂初のオルガニスト研修生に選ばれた。18年からリスト音楽院の博士課程に在学。

2019年9月、第21代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任。



吉村 怜子

札幌コンサートホール Kitara のオルガンスクールにて、3年間オルガンの初歩を学ぶ。東京藝術大学音楽学部器楽科(オルガン専攻)卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。その後、フランスのリヨン国立音楽院オルガン科卒業、同音楽院修士課程修了。オルガンを大野 敦子、小林 英之、深井 李々子、廣野 嗣雄、早島 万紀子、廣江 理枝、F.エスピナス、L.シュルンベルジェ、チェンバロを小島 芳子、大塚 直哉、通奏低音を今井 奈緒子、Y.レヒシュタイナーの各氏に師事。

取材ご希望の際は、下記担当へご連絡ください。

※学校への直接のお問い合わせ、お申込はご遠慮ください。

【担当・お問合せ】

札幌コンサートホール事業課事業係 河原

〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1-15 TEL 011-520-2000 FAX 011-520-1575